

## 『支えの御手』 詩篇31篇14～15節 2017.11.19(聖日礼拝説教より)

『主よ。私は、あなたに信頼しています。私は告白します。「あなたこそ私の神です。私の時は、御手の中にあります。』

詩篇31篇14～15節

❶**すべては、神のもの**…『私の時は、御手の中にあります』! 「私の時(人生・運命)」は、「私の手」にはなく、「神の手の中」にある! と言う。そして、御手の中にあるのは、「時間」だけでなく、お金・健康・能力・家族…全て! 失って初めて気づく! 自分のものではなかったと! 『私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかほりに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな(ヨブ 1:21)』。今の私の持ち物は全部、神からのいただきもの。「正しいことに使うように」と、あなたに委ね、任せたもの! 神には、いつでも、それを取り去る権威がある! 私たちから言えば、「お返する時」! この創り主を信頼し、「なぜ奪う!」の文句を言うのではなく、「今まで使わせていただき有難うございました」と感謝するもの…!

❷**支え、守る、神の御手!**…「私の時が御手の中に」の第二の意味は、私たちの人生の全てが、いつ、どんな場合も、神の御手に支えられ守られていること! どんな境遇でも、どんな絶望的状况になっても、この方が、その中で、あなたを支えることが出来る! 「私」が悪魔の手の中ではなく、御手の中で、神と共に歩むように導かれ、あらゆる境遇の中で生かされ、世の悪から守られる! 「神の御手」とは具体的には何? 聖書は、目に見えない神が、イエス・キリストを通して現れたと語る。『わたしを見た者は、父を見たのです(ヨハネ 14:9)』。目に見えない神を見たいのなら、あのクリスマスにベツレヘムで生まれたイエスを見よ! 神が、どんな方かわからないならキリストの言葉を聴き、行いを見よ! 熱病のペテロの姑を起し癒された御手(マタイ8章)。聞こえず、話せない人の耳と口を開かれた御手(マルコ7章)。生まれつきの盲人の目に泥を塗り見えるようにされた御手(ヨハネ9章)。ゲツセマネで苦しみ悶えつつ祈られた御手。十字架に釘付けにされ引き裂かれた御手…このイエスが甦られ、その御手をもって今も生きて私たちを支え、導かれる!

★あなたは、自分の人生の時、能力、身体、大切な人たち全てが、神から、しばし与えられ、委ねられていることを知っているか? あなたに全てを与えた神と共に生き、御手に支えられてこそ正しい人生が歩めることを知っている? イエス・キリストを通して、ご自身を現された支えの御手を信じ、永遠の御国の朝を望み見つつ、『今』をしっかりと生きたい!